

いきもの ふれあいの森 通信

2025.2.20 第3号



今回は、2月8日（土）に行われました“山と自然博物館「冬の野鳥観察会」”の様子をお伝えします。冬になると木々の葉も落ちて野鳥の姿が追いやすくなり、アルプス公園北側の「いきものふれあいの森」の中を散策しながらの観察会です。当日は大寒波の影響で大雪が心配されましたが、朝方には晴れて絶好の観察日和となりました。



午前9時に「山と自然博物館」に集合し、講師の丸山 隆氏（元信州野鳥の会会長）からレクチャーを受けて、さあ、出発です！

早速、メジロが迎えてくれます。



年間を通してアルプス公園で見られます。よく鶯に間違われます



そして、「森の入口広場」下の南斜面を覗いていると、何やら騒がしい鳥の声が…
…、
皆さん揃って双眼鏡を下に合わせると…
…、

カシラダカです。写真では1羽ですが、4羽が連れ添って草の種子を食べていました。



ユーラシア大陸で繁殖し、日本には冬鳥として渡来します。

©松本市山と自然博物館

「ふれあいの水辺」から更に下ると、山側の斜面にカヤクグリを発見。夏は標高の高い乗鞍岳で見られますが冬は下界にも降りてきます。



高山で繁殖し、冬、低山にやってきます。

©松本市山と自然博物館



更に「養老坂」に向かい足を進めましょう。双眼鏡を抱え、雪を踏みしめながら鳥の声がすると立ち止まって探すのですが…。

いました、ジョウビタキです。



「養老坂」の峠まで来ました。
多くの人々が来たためか、人慣れた数羽のヤマガラが参加者を出迎えてくれました。



さて、ここまで来ましたら時間も迫ってきましたので、再び「山と自然博物館」に戻り、今回の観察会で見られた鳥の確認です。

**次回の“野鳥観察会”は、愛鳥週間の頃
(5/10～16) を予定しています。**



今回の観察会で見られたのは、写真で紹介した5種類も加えて、トビ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ルリビタキ、ジョウビタキ、カヤクグリ、カワラヒラ、ホオジロ、カシラダカ、アオジが見られ、残念ながら姿は見られませんが声だけ聞こえたのがコゲラとイカル。16種類の野鳥が観察出来ました。

参加された方々は、一人の方やお母さんと子供さん、家族連れ等で、初めて参加した小学生に感想を聞きました。

小3女の子：鳥も蝶も大好きです。朝早くて眠かったけど楽しかった！

小6女の子：9羽見るのが出来て良かった。また、来たい！

以上

《おまけ》

**古民家脇にある薬草園の中で福寿草が咲いて
ます。是非、見つけに来て下さい。**

